

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福島区吉野5丁目マンション新築工事		
建設地	福島区吉野5丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	784.00	m ²	
建築面積	301.58	m ²	
延床面積	2,691.34	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上11階
完了年(予定)	2020年6月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B+
BEE=1.0

S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ B:★★★ C:★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。		特になし
Q1 室内環境 遮音性能の優れた建材を使用し、住戸のプライバシーに配慮している。室内の空気質に配慮して換気量を確保している。	Q2 サービス性能 耐用年数の永い材料を使用し、建物が長期間使用できるよう配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 防犯性を高めることにより安心して居住できる環境の整備に努めている。
LR1 エネルギー LED照明器具、高効率エアコンを採用している。	LR2 資源・マテリアル 再利用できるユニット部材の採用により、資源の大量消費を防ぐようになっている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減を図っている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.7 ライフサイクルCO2排出率:81%
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率の低減を図っている。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 外構緑化指数:40%以上
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0 水平投影面積率:40%以上、緑被率他:20%以上
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0 アメダスターで卓越風向を把握、地表面対策面積率:40%以上
配慮事項	日陰、地表面緑化によるヒートアイランド現象の緩和を図っている。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0 断熱等性能基準:等級3
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.5 LED照明の採用
配慮事項	LED照明器具、高効率エアコンを採用し、設備システムの高効率化を図っている。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級3 (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.95	住宅部分[BEI] 0.95	非住宅部分[BEI][BEIm] -

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート (太陽熱利用設備用)

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ (33) m <input type="checkbox"/> 地上部 (<input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 ()
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m
ウ 日照の確保 (冬至)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 熱需要の条件等の検討	
ア 建築物の用途	共同住宅
イ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
ウ 設置可能面積	(286.2) m ²
エ 概算年間熱利用量	(249,267) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (例: 設備用基礎の設置) ()
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他 ()	
2 導入する設備の概要	
ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
備考	